

高等教育の修学支援新制度 対策に関する情報と — 飛ぶノート出雲を利用したご提案 —

株式会社システム工房エム

高等教育の修学支援新制度の紹介：

【支援対象となる学校種】 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校
【支援内容】 ① 授業料等減免制度の創設 ② 給付型奨学金の支給の拡充
【支援対象となる学生】 住民税非課税世帯 及び それに準ずる世帯の学生
((令和2年度の在学学生 (既入学者も含む) から対象))
【財源】 少子化に対処するための施策として、消費税率引上げによる財源を活用
国負担分は社会保障関係費として内閣府に予算計上、文科省で執行

「文部科学省 高等教育の修学支援新制度 特設ページ (高校生・保護者向け)」より抜粋

ただし、学生は「学業成績・学修意欲に関する要件」を満たしたうえ「大学無償化の対象大学」に入学・在籍する必要があります。

修学支援新制度対象大学の要件

1. 実務経験のある教員による授業科目が標準単位数 (4年制大学の場合、124単位) の1割以上、配置されていること
2. 法人の「理事」に産業界等の外部人材を複数任命していること
3. 授業計画 (シラバス) の作成、GPAなどの成績評価の客観的指標の設定、卒業の認定に関する方針の策定などにより、**厳格かつ適正な成績管理を実施・公表している**こと
4. 法令に則り、貸借対照表、損益計算書その他の財務諸表等の情報や、定員充足状況や進学・就職の状況など教育活動に係る情報を開示していること

3の「厳格かつ適正な成績管理」は、対象学生への支援打ち切りに関する判定の際にも重要になります (参照 高等教育段階の教育費負担新制度に係る質問と回答 (Q&A) http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1409388.htm)。

判定に用いられる基準

- **出席率**
- **成績 (GPA の相対評価)**

すなわち

- 高等教育の修学支援新制度の対象となった大学は継続的に出席を厳正に管理し、適正な成績評価をする必要があります。
- 成績の評価にあたっては、「大学設置基準」に定められたように、講義時間と同等~2倍の時間の事前・事後学習の成果も評価することが望ましいと考えられます。

システム工房エムでは、弊社製品「飛ぶノート出雲」の販売を通じてお世話になっている複数の大学の先生方に、高等教育の修学支援新制度対象大学の講義に求められる条件を伺いました。

大学無償化の対象大学として必要になることが想定される授業・成績管理

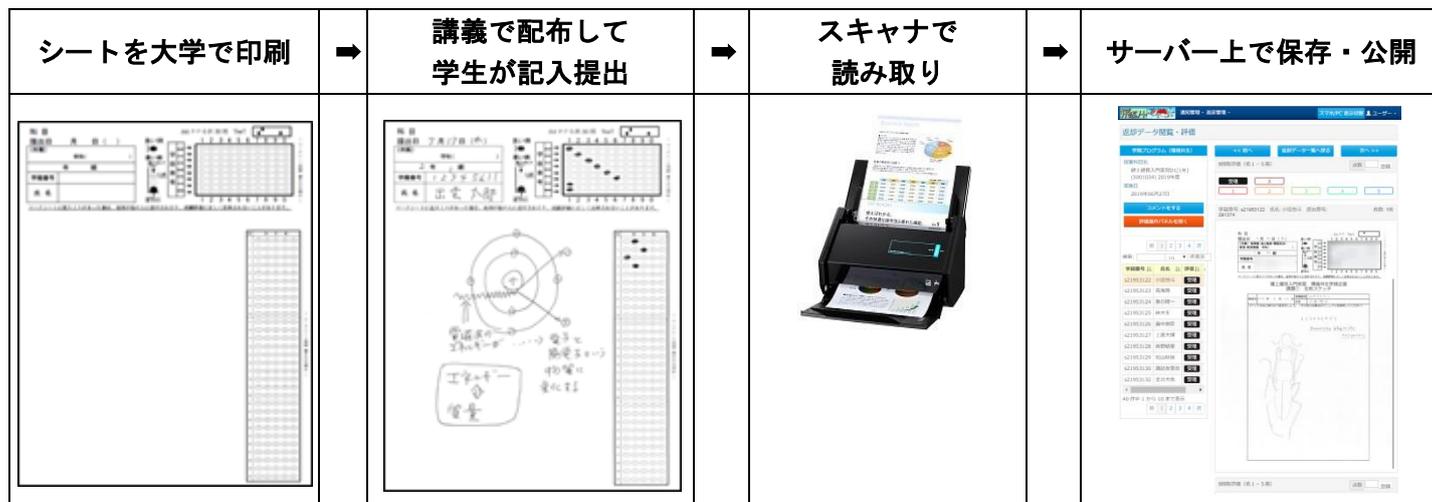
1. **なりすましの存在しない出席管理**
2. **事前・事後学習のエビデンス**
3. **学修成果を客観的に評価するための、小テスト・レポートの実施と記録**
4. **カリキュラムと連動した期末試験とその記録**

弊社の「飛ぶノート出雲」は下記の機能で上記の4条件をサポートいたします。

- ①なりすまし防止機能付きの出席確認用提出
- ②事前・事後学習を個人別に蓄積 (エビデンス化)
- ③選択式小テストと記述式レポートを同時提出
- ④期末試験の迅速確実な返却 (詳しくは裏面)

「飛ぶノート出雲」は4つの機能で「大学無償化の対象大学として必要になることが想定される授業・成績管理」の4条件をサポートします。

飛ぶノート出雲の仕組み



①出席確認となりすまし防止の運用

飛ぶノート出雲シートに学籍番号をマークし、右図の様に手書きの課題と組み合わせる事で**厳密な出席管理ができます。**

加えて、AI を利用し筆跡からなりすましを防止する機能を開発中です。

(随時ホームページに掲載いたします)

②事前・事後学習を個人別にエビデンス化

飛ぶノート出雲は提出されたレポートを大学のサーバーに保存します。事前・事後学習のレポートは個人別に蓄積できますので、**学習のエビデンスになります。**

③小テストの実施とレポートの管理

選択式の小テストを実施する際には、飛ぶノート出雲シート右欄の小テスト解答用マークシートを使用します。(自動採点が可能です。)

選択設問のみならず、解答理由も記述することにより、個人別に**思考過程を記録・採点できます。**

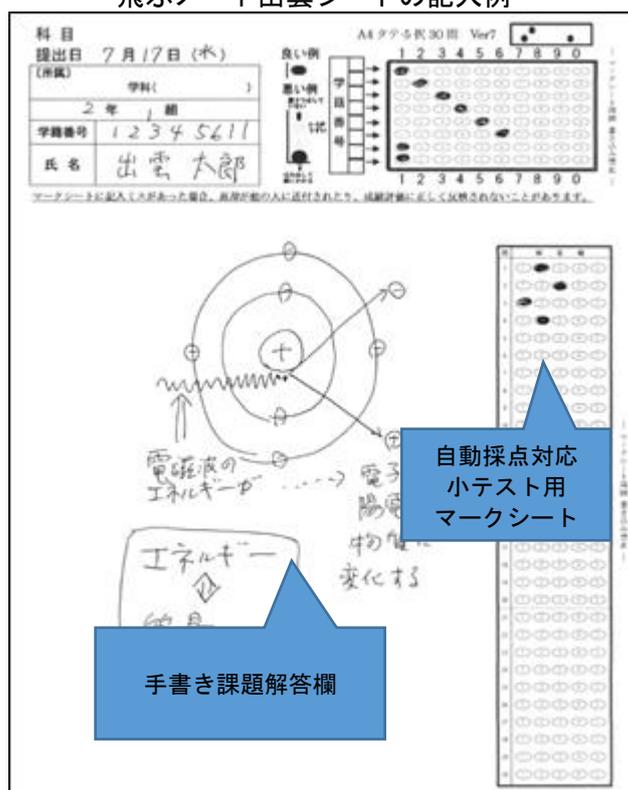
さらに、弊社と酪農学園大学で特許出願中の設問自動生成システムを用いると、個人ごとに出題の異なる小テストが実施可能となり、カンニングを防止できます。

④期末試験の迅速確実な返却

飛ぶノート出雲は期末試験に用いる複数枚の飛ぶノート出雲シートをまとめて返却できます。

採点後の返却は迅速なため、**適正な採点を学生と教員が共有できます。**

飛ぶノート出雲シートの記入例



飛ぶノート出雲導入のご相談は下記まで

株式会社システム工房エム 〒690-0017 島根県松江市西津田 3-2-3

担当者: 近藤、岩田 Mail: info-report@kouboum.co.jp FAX: 0852-23-8591